

受付ID	団体名	事業名	事業期間 (始まり)	事業期間 (終わり)	活動地域	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額
41	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	ICTを活用した「地域をつなぐオンライン」プロジェクト	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大東市内全域	大東市立総合福祉センター	民生委員・児童委員、校区福祉委員長、お茶のみ休憩所運営委員	これまでタブレット配布によりデジタル格差をなくすというICT化の基盤づくり、情報発信・情報共有のためにタブレットを活用する交流会を実施した。令和7年度は各団体の拠点をオンラインでつなぎ、リアルタイムで情報共有する仕組みを実施し、互いの活動を理解し共有できる体制を整えます。また、今後は事務局のサポートがなくとも自発的にタブレットを活用していけるよう、継続的なICTの取組みを進めます。	2,143,000円
43	特定非営利活動法人SKY	中高年男性の孤独・孤立予防対策「男のセカンドキャリア塾」	令和7年9月1日	令和8年3月31日	大阪市	大阪産業創造館 (大阪市中央区)	大阪府民の中高年男性	「男のセカンドキャリア塾」ワークショップは、セカンドキャリア形成、コミュニケーションスキル向上、簡単な手料理の習得、新しい趣味の発見、自己内省、地域との繋がりなどの6分野で実施されます。受講者が孤独に対する認識を変え、自らの「居場所」を見つける力を育むことを目的とし、キャリアチェンジに向けた孤独孤立対策を支援します。	1,020,000円
44	認定NPO法人CLACK	大阪府の困難を抱える高校生へのプログラミング学習支援	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪市淀川区、東京都中野区鷺宮	よどがわベース (大阪市淀川区)	生活困窮、ひとり親などの経済的困難、不登校、いじめを受けた経験、外国ルーツ、発達障害などの困難を抱える大阪府の高校生	3ヶ月間のプログラミング学習支援教室を年3回実施し、合計45人の高校生に提供。平日はメタバース空間でのオンライン支援、土曜日は対面で実施。企業訪問やキャリア支援も行い、大学生や社会人エンジニアとの交流機会を提供。体験会ではプログラミングを楽しく学べる機会を提供し、大学生講師には研修を実施。参加者の自立を社会的インパクト評価で測定。	5,000,000円
45	社会福祉法人貝塚市社会福祉協議会	民生委員・児童委員協議会へのICT導入事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	貝塚市	貝塚市民生委員・児童委員協議会事務局	民生委員・児童委員	令和4年12月の一斉改選では定数148名に対し33名が欠員となっている。担い手不足解消のため、タブレットを活用しコミュニケーションツールなどを活用した委員間の情報共有を進め、民生委員の連携強化・活動の効率化・負担軽減を目的とする。令和7年12月の一斉改選後はタブレットを返却し委員個人所有のスマホやPCを活用し、引き続き委員活動のICT化に取り組む。	3,740,000円
46	社会福祉法人枚方市社会福祉協議会	ひらブラ next smile（次世代育成支援多機能スペース事業）	令和7年4月1日	令和8年3月31日	枚方市全域	ルフアルひらかた社協 4 階 (枚方市)	枚方市内で次世代育成支援（子育て支援、不登校児童生徒への支援、若者支援など）に取り組む団体や個人、枚方市内で活動する学生ボランティアなど	申請事業は、地縁型子育て支援の不足や不登校児童生徒の孤立化を解消するため、次世代育成支援を充実させることを目的としています。ひらブラ next smileで専用スペースを提供し、コーディネーターが支援を行います。令和6年度は6団体が利用し、活動の拠点活用や団体間の連携が進みました。令和7年度は新たな団体の利用促進やネットワーク構築を強化します。	1,750,000円
48	一般社団法人 認知症予防活動コンソーシアム	スポーツが推進！多様な人が自然に集まる交流の場作り事業	令和7年6月1日	令和8年2月28日	大阪府内（主に大阪市、東大阪市、守口市、枚方市）	大阪府内（主に守口市、豊中市、泉大津市）	年齢・性別・障がいの有無に関わらず、全ての大阪府民を対象 特に、高齢者、認知症、要支援要介護者、障がい者・児といった障がいのある方に加え、ひきこもりやヤングケアラー等といった方々も対象	この事業は、多様な人々が集える新たな“居場所”を構築し、地域の活性化と相互理解を促進することを目的としています。府内3拠点で、月1回のイベントを開催し、ミニらいとモルック体験教室やスマホ教室、健康相談を提供します。オレンジリンピック大会を通じて交流を深め、サポーター育成講座で地域の担い手を育成します。効果検証としてアンケート調査や有識者の助言を受け、持続可能な取組を目指します。	5,000,000円
49	特定非営利活動法人 Homedoor	若年層を中心とした生活困窮状態・ホームレス状態の人の生活相談及び就労相談事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪市北区を拠点に大阪府下全域	アンドセンター・アンドベース (大阪市北区) 大阪市全域	ネットカフェや安宿等を含む、広義のホームレス状態にある人、近いうちに住居喪失をする可能性がある人や、事情により家に帰れない人。 上記の内、特に若年層で就労に課題を持っている人	ホームレス状態にある人々が希望する形で生活を再建できるよう、個別対応のワンストップ型支援を提供します。相談者の状況をヒアリングし、必要に応じて無料宿泊施設「アンドセンター」を利用しながら、生活再建を支援します。アパート入居や就労を希望する人には、それぞれに適した不動産会社や就労先を紹介します。また、就労支援やイベントを通じて、支援終了後も継続的なサポートを行い、情報配信や「おかえりチケット」の配布を実施します。	5,000,000円
50	特定非営利活動法人イシュープラスデザイン	認知症世界の歩き方カレッジ大阪：仲間と共にご本人視点で認知症を学べるワークショップ開催＆ファシリテーター養成事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪市、京都府京都市、東京都文京区を中心に日本全国	大阪府内3地域	1.自分のために認知症を学びたいと考えている認知症当事者および予備軍 2.大切なパートナーや家族、お客さんのために認知症を学びたい当事者の家族や専門職	「認知症世界の歩き方」事業は、認知症の経験を仮想旅行形式で紹介する書籍や番組を基に、ワークショップとファシリテーター養成講座を展開しています。事業1では、大阪府とオンラインにて15回のワークショップを開催し、認知症を学ぶ機会を提供。事業2では、30名のファシリテーターを養成し、事業の継続を目指します。事業3では、養成されたファシリテーターが地域でワークショップを運営し、参加者が悩みを共有できる場を広げるためのサポートを行います。	5,000,000円
52	一般社団法人よりそいネットおおさか	福祉と連動する更生支援を通じた地域共生社会の実現	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪府全域	一般社団法人よりそいネットおおさか (大阪市中央区)	・罪に問われた障がい者や高齢者 ・上記を取り巻く関係者 ・支援学校や就労支援事業所に通所する知的障害者	2023年度には、刑事手続きすぐろくやリラクゼーション体操のツールを改良し、少年向けバージョンやヨガを取り入れる計画を進めています。また、「わたしを知ってくださいシート」の施設内活用を強化し、地域社会との連携を図ります。さらに、知的障がい者が犯罪に巻き込まれないための啓発ツールを開発し、教育専門家と連携して支援体制を構築します。	5,000,000円

53	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	吹田市民生・児童委員協議会のICT化による担い手確保事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	吹田市内全域	吹田市社会福祉協議会（吹田市）	吹田市社会福祉協議会、CSW、吹田市民生委員・児童委員	吹田市民生委員・児童委員協議会にタブレット端末を配布し、LINEWORKSを活用した事務連絡や情報共有を行っていますが、その範囲を地区委員長と主任児童委員から、各地区部会員等に拡充し、委員間の連携強化や事務局との効率化を図ります。LINE公式アカウントの活用方法の見直し、民児協HPへの地区活動紹介ページの作成、署名捺印等が必要な事務のICT活用・効率化を検討します。	2,830,000円
54	公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会	精神障害者を家族に持つ配偶者・パートナー、きょうだい、子どものための家族学習交流会	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪府内全域（大阪市・堺市を含む）	公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会（大阪市中央区）	従来の地域家族会では繋がりにくい家族（特に配偶者・パートナー、きょうだい、子ども）、地域の精神障害者の支援者	従来の地域家族会では繋がりにくい家族（特に配偶者・パートナー・きょうだい・子ども）に向けて、精神障害についての学習と同じ立場の家族交流の場を創設する。対象家族の交流の場の情報発信を強化する。	1,311,000円
55	特定非営利活動法人育て上げネット	高校内居場所カフェと校外居場所（ユースセンター）を通じて困難を抱える高校生等の若者をネットワークで支える事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	東京都立川市、大阪府大阪市	大阪府立工芸高等学校（大阪市阿倍野区）、NPO法人育て上げネットユースセンター（大阪市北区）	・大阪府立工芸高等学校（定時制）に通う生徒・困難を抱え、家庭や学校外の居場所を必要とする大阪市周辺の10代の若者	困難を抱える生徒・若者を早期に発見し、年間を通じて安心できる居場所を提供することを目的とした事業です。月2～3回の校内居場所では、軽食やゲームを通じて仲間づくりを支援し、信頼できる大人との出会いを促進します。また、年4回の校内連携会議や長期休み期間中のユースセンター運営を通じて、地域とのつながりを強化し、必要に応じた個別相談やソーシャルワークを提供します。	1,698,000円
56	特定非営利活動法人み・らいず2	学童から親子を支援につなげることも包括ネットワーク構築事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪市住之江区、堺市、高槻市	特定非営利活動法人み・らいず2（大阪市住之江区）	ひとり親であることやこどもの発達特性などの理由により既存の支援につなげることが難しい親子、地域の教育、福祉等ことに関わる機関、民生児童委員等を含む地域住民の支援者。	一人で子育てを担う親が気兼ねなく頼れる支援ネットワーク「こども包括ネットワーク」を地域に構築することを目指します。親子の孤立やトラブルを防ぎ、健やかな生活を支援するため、相談や地域福祉事業の利用を促進します。プロジェクトマネージャーと相談員が中心となり、子どもを預けられる環境を整え、「一緒に子育てできる他人」を地域に持てる仕組みを作ります。	5,000,000円
58	社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会	ICTを活用した民生委員・児童委員の担い手確保事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	河内長野市内	イズミヤゆいテラス河内長野（河内長野市）	河内長野市民生委員児童委員協議会	ICTを推進することで現役委員の負担を軽減し、働きながら活動している委員が活動を行いやすくなるよう環境を整備することで、新たな担い手の確保につなげる。引き続き活用促進のための講座開催、災害時等を想定した緊急時のオンライン会議、会議資料のペーパーレス化やデータ共有方法の仕組み化、研修の動画視聴等の取り組みを実施し、全委員がICT化に前向きに取り組める講座内容の確立を行う。	4,283,000円
59	NPO法人市民ネットすいた	地域における外国人住民のボランティア活動促進事業 ～外国人住民が主体者としてまちづくりに参画できる仕組みを共に創る～	令和7年4月1日	令和8年3月31日	北摂地域	NPO法人市民ネットすいた（吹田市）	1. 地域住民および外国人住民 2. 地域福祉、多文化共生、まちづくりなどに携わる関係機関	日本社会において、言葉や文化の壁、先入観や偏見などで孤立しがちな外国人住民に地域活動への参加機会を創出し、交流する地域住民を増やします。福祉団体（社会福祉協議会、地区福祉委員会、民生委員・児童委員など）、多文化共生団体、行政などが連携し、外国人住民と共に安心して暮らせるまちづくりを推進します。事業は3年間で、1年目は外国人住民の地域活動に関する実態調査を中心に行います。	5,000,000円
60	特定非営利活動法人NPOかんなびの丘	金銭管理サービス適正化推進事業	令和7年4月1日	令和8年3月31日	堺市・富田林市を中心とした大阪府全域	NPOかんなびの丘（堺市北区）	施設等管理者・職員・利用者	施設での金銭管理サービスの適正提供体制を構築するため、作業部会を設置し、実施マニュアルの作成、理解促進のための啓発活動を行います。専門家相談窓口を開設し、現場の悩みを解消しつつ、得られたQ&Aをマニュアルに反映します。また、社会の理解を促進するため、イベントで啓発活動を実施します。	2,400,000円
61	公益社団法人認知症のひと家族の会大阪府支部	認知症の本人による「新しい認知症観」の普及 ～共生社会の実現に向けたプロジェクト～	令和7年4月1日	令和8年3月31日	大阪府内	大阪府内の地域の会館、社会福祉施設、その他、協力を得る地域の機関団体等	認知症の本人・家族、支援する専門家、関係機関、地域の団体、ボランティア、地域住民	認知症の本人が仲間と出会い、やりたいことを実現することで元気になり、希望を持って生きることが目的としています。本人の思いから始まり、仲間づくりと活動創造を重視する先駆的なプロジェクトです。専門職も参加し、新しい認知症観を体感し、広域的な活動につなげます。ピアサポート活動の重要性を認識し、本人同士でそのあり方を議論し、地域に新しい認知症観を根付かせます。	2,000,000円

合計17件 58,175,000円